



**SVM**  
**DR** デス ティ ネーションからのデータの提供  
ONTAP 9

NetApp  
December 20, 2024

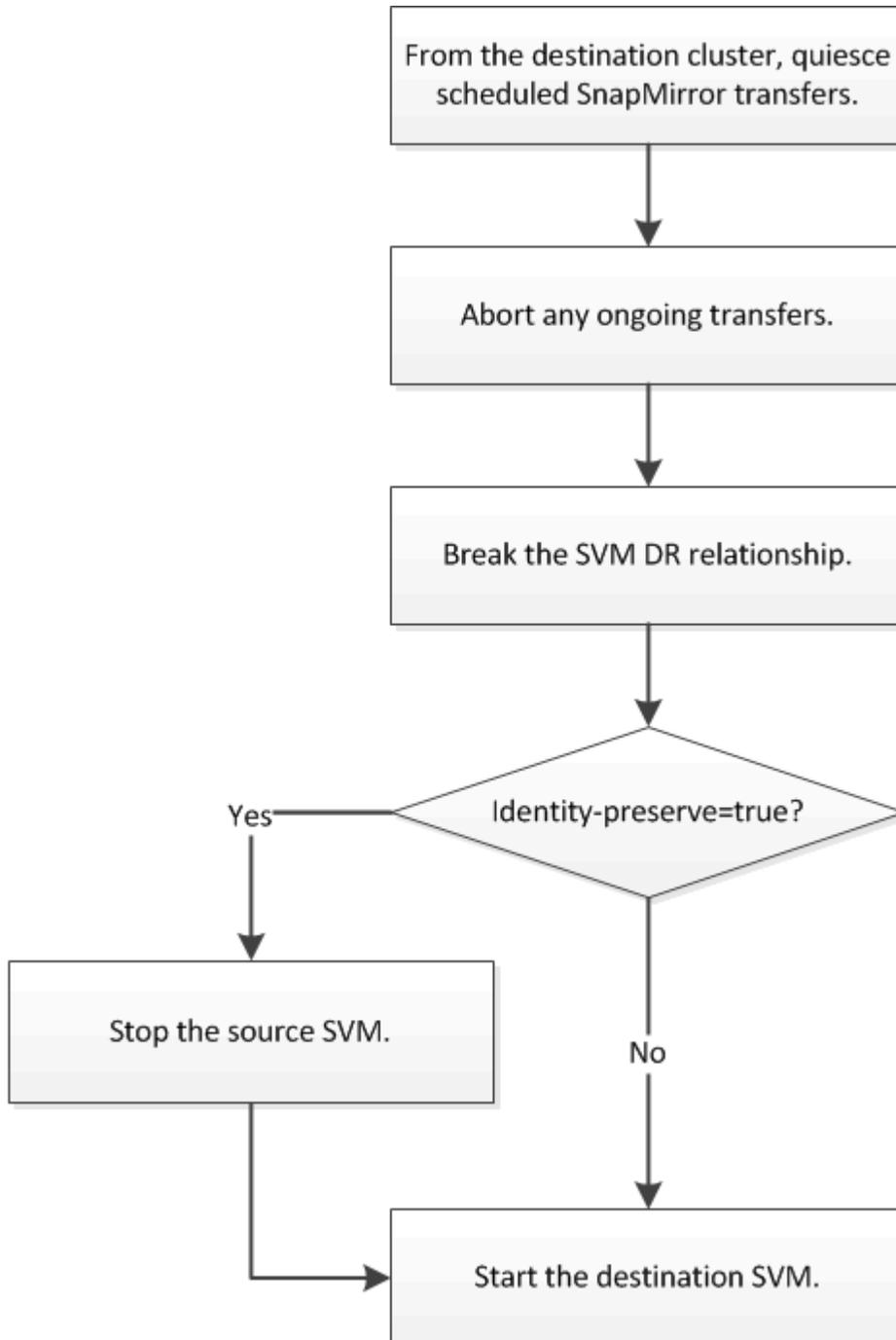
# 目次

SVM DRデスティネーションからのデータの提供 .....	1
ONTAP SVMディザスタリカバリのワークフロー.....	1
ONTAP SVMデスティネーションボリュームを書き込み可能として設定.....	2

# SVM DRデスティネーションからのデータの提供

## ONTAP SVMディザスタリカバリのワークフロー

災害からリカバリし、デスティネーションSVMからデータを提供するには、デスティネーションSVMをアクティブ化する必要があります。デスティネーションSVMのアクティブ化では、スケジュールされたSnapMirror転送の停止、実行中のSnapMirror転送の中止、レプリケーション関係の解除、ソースSVMの停止、デスティネーションSVMの起動が実行されます。



# ONTAP SVMデスティネーションボリュームを書き込み可能として設定

クライアントにデータを提供する前に、SVM デスティネーションボリュームを書き込み可能にする必要があります。

この手順は、1つの例外を除き、ボリュームレプリケーションの手順とほとんど同じです。SVMレプリケーション関係の作成時にを設定した場合は `-identity-preserve true`、デスティネーションSVMをアクティブ化する前にソースSVMを停止する必要があります。

タスクの内容

コマンド構文全体については、マニュアルページを参照してください。



ディザスタリカバリシナリオでは、ソースSVMとそのデータにアクセスできなくなるほか、前回の再同期後の更新に障害が発生したり破損したりする可能性があるため、ソースSVMからディザスタリカバリデスティネーションSVMへのSnapMirror更新を実行できません。

ONTAP 9.8以降では、System Managerを使用して、災害発生後にデスティネーションStorage VMをアクティブ化できます。デスティネーションStorage VMをアクティブ化すると、SVMデスティネーションボリュームが書き込み可能になり、クライアントにデータを提供できるようになります。

手順

このタスクは、System ManagerまたはONTAP CLIから実行できます。

## System Manager

1. ソースクラスタにアクセスできる場合は、SVMが停止していることを確認します。\* Storage > Storage VM\*に移動し、SVMの\* State \*列を確認します。
2. ソースSVMの状態が「実行中」の場合は停止します。を選択し、\*[停止]\*を選択  します。
3. デスティネーションクラスタで、目的の保護関係を探します。\* Protection > Relationships \*に移動します。
4. 目的のソースStorage VM名にカーソルを合わせ、をクリックし 、\*デスティネーションStorage VMのアクティブ化\*を選択します。
5. ウィンドウで、[デスティネーションStorage VMをアクティブ化して関係を解除する]\*を選択します。
6. [Activate (有効化) ]をクリックします

## CLI

1. デスティネーションSVMまたはデスティネーションクラスタから、デスティネーションへのスケジュールされた転送を停止します。

```
snapmirror quiesce -source-path <SVM>: -destination-path <SVM>:
```



オプションと `-destination-path` オプションで、SVM名のあとにコロン (:) を入力する必要があります `-source-path`。以下の例を参照してください。

次の例は、ソースSVMとデスティネーションSVM `svm_backup` の間のスケジュールされた転送を停止します `svm1`。

```
cluster_dst::> snapmirror quiesce -source-path svm1: -destination  
-path svm_backup:
```

2. デスティネーションSVMまたはデスティネーションクラスタから、デスティネーションへの実行中の転送を停止します。

```
snapmirror abort -source-path <SVM>: -destination-path <SVM>:
```



オプションと `-destination-path` オプションで、SVM名のあとにコロン (:) を入力する必要があります `-source-path`。以下の例を参照してください。

次の例は、ソースSVMとデスティネーションSVM `svm_backup` の間の実行中の転送を停止します `svm1`。

```
cluster_dst::> snapmirror abort -source-path svm1: -destination-path  
svm_backup:
```

3. デスティネーションSVMまたはデスティネーションクラスタから、レプリケーション関係を解除します。

```
snapmirror break -source-path <SVM>: -destination-path <SVM>:
```



オプションと `-destination-path`` オプションで、SVM名のあとにコロン (:) を入力する必要があります ``-source-path`。以下の例を参照してください。

次の例は、ソースSVMとデスティネーションSVM ``svm_backup`` の間の関係を解除し ``svm1`` ます。

```
cluster_dst::> snapmirror break -source-path svm1: -destination-path  
svm_backup:
```

4. SVMレプリケーション関係の作成時にを設定した場合は `-identity-preserve true`、ソースSVMを停止します。

```
vserver stop -vserver <SVM>
```

次の例は、ソースSVMを停止し ``svm1`` ます。

```
cluster_src::> vserver stop svm1
```

5. デスティネーション SVM を起動します。

```
vserver start -vserver <SVM>
```

次の例は、デスティネーションSVMを起動し ``svm_backup`` ます。

```
cluster_dst::> vserver start svm_backup
```

終了後

の説明に従って、データアクセス用のSVMデスティネーションボリュームを設定します"[データアクセスのためのデスティネーションボリュームの設定](#)"。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。